

令和3年度 アスベストモニタリングマニュアル改訂検討会 設置要綱

1. 目的

「今後の石綿飛散防止の在り方について（答申）」（令和2年1月 中央環境審議会）では、「石綿繊維数濃度や総繊維数濃度を迅速に測定するための方法や評価の指標、測定結果を作業管理に活用する際の課題と対応を調査・研究するとともに、これらの進展状況を踏まえ、国内外で実施されている大気濃度測定の方法等も参考にしつつ、大気濃度測定の制度化について速やかに検討する必要がある」とされている。また、近年地震・大雨等の自然災害が多数発生しており、災害時における石綿飛散状況を確認することが重要である。

本検討会では、昨年の大気汚染防止法改正も踏まえ、最新の情報により、現場での漏えい監視等に運用可能な測定方法や測定機器の現場での使用の効果等を検証するとともに、災害時における石綿の測定方法について追記する等、アスベストモニタリングマニュアルを改訂することを目的とする。

2. 検討内容

- (1) 迅速測定法について
- (2) 災害時における測定方法について
- (3) 大気汚染防止法改正に伴う用語等の修正
- (4) 新規技術について
- (5) その他アスベストモニタリングマニュアルに追加・修正すべき事項

3. 検討会運営

- (1) 本検討会は、別紙に掲げる学識経験者、地方自治体職員等で構成する。
- (2) 本検討会には、座長を置き、座長は、検討会の議事を整理する。
なお、座長は、委員の互選により決定する。
- (3) 本検討会は、公開で行うこととし、検討会資料についても個人や団体が特定されるような情報を除き、原則として公開とする。
- (4) 検討会の事務は、環境省の請負業者が行う。
- (5) その他、検討会の運営に当たり必要な事項は、座長が定める。

4. 開催時期・回数

令和3年10月1日～令和4年3月25日までに3回程度開催する。

アスベストモニタリングマニュアル改訂検討会 委員名簿

(五十音順、敬称略)

氏 名	所 属 ・ 役 職
貴田 晶子	愛媛大学農学部 非常勤講師
黒田 章夫	広島大学大学院統合生命科学研究科 教授
小坂 浩	元兵庫県立健康環境科学研究センター大気環境部 研究員
小西 淑人	一般社団法人日本繊維状物質研究協会 専務理事
寺園 淳	国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環領域 上級主席研究員
西村 浩一	熊本県環境生活部環境局 環境保全課 課長
平野 耕一郎	公益社団法人日本環境技術協会 理事
山崎 淳司	早稲田大学理工学術院 教授